

A220、製造 100 機に到達



A220 製造 100 機到達記念式典がカナダのミラベル工場で開催

A220 の製造がこのほど 100 機に到達しました。記念式典が A220 プログラムの本拠地であるカナダのミラベルで開催されました。記念すべき 100 機目となったのはラトビアのエアバルティック向け A220-300 です。同社の A220-300 は快適な 149 席を装備します。

A220 ファミリーはミラベルにある最終組立工場 で組み立てを行うほか、米アラバマ州モビールにも

2 番目の組立ラインが設置されています。世界で最初の A220 (C シリーズ) は 2016 年 6 月にスイス インターナショナル エアラインズ (SWISS) に納入 されました。

エアバルティックは 2016 年 11 月に A220-300 の初号機を受領し、ローンチオペレーターになりました。その後同社は A220-300 を追加発注し、合計発注数が 50 機にのぼる欧州最大の A220 の顧

客です。現在は 20 機の A220-300 を運航しています。

高い燃費性能と優れた運航性能を備えた A220 はエアバルティックの新たなビジネス計画を支える主力機として同社の成長に寄与します。同社は A220 を欧州、ロシア、中東の様々な都市に運航しています。現在 A220 の最長路線はリガとアブダビを結ぶ路線で、6.5 時間飛行します。

A220 は 100-150 席市場に対応する航空機で、比類ない燃費効率性と高い快適性を提供します。最先端の空力性能、最新材料、プラット・アンド・ホイットニー社製 PW1500G ギャドターボファンエンジンを備え、旧世代機と比較して座席当たりの燃費を 20%削減して

います。二酸化炭素排出や騒音も大幅に抑えています。A220 は大型の単通路型機と同等の性能を提供します。

contents

A220、製造 100 機に到達

エールフランス-KLM、
A350 XWB を 10 機追加発注

ユナイテッド航空、
A321XLR を 50 機発注

チリのスカイ、A321XLR を 10 機発注

タッチスクリーンのコックピットディスプレイを装備した A350 XWB を初納入

エア・カナダ、A220 を初受領

2019 年のハイライト

A220 flying on 300+ routes on 4 continents

In operation with 6 airlines on 200+ destinations

Great versatility:
Operating from regional
to long range missions



290,000+
flight hours

18+ hours
daily utilization

Up to 13
legs per day

530 firm
orders
from 20+
diversified customers

AIRBUS

エールフランス-KLM、A350 XWB を 10 機追加発注

エールフランス-KLM グループが A350-900 を 10 機追加発注しました。これにより同社の A350-900 に対する合計発注数は 38 機に増加します。

同社は効率的で最新技術を搭載した最新鋭 A350 XWB を導入することによって、燃費や CO₂ 排出量を大幅に削減することができます。発注した

A350-900 はエールフランス航空によって運航される予定です。

エールフランス-KLM グループのベンジャミン・スミス CEO は次のように述べました。「機材の合理化と最新機材の導入は、卓越した競争力を取り戻すために非常に重要な戦略です。経済性および運用面でパフォーマンスが強化され、私達の持続可能なビジネス計画の目標達成の助けとなるでしょう。旧世代機と比べて燃費を 25% 削減する A350-900 は欧州の技術力を結集した財産であり旅客からの人気も高い航空機です。エールフランス航空の主力機として活躍してくれることを楽しみにしています」

エールフランス-KLM グループは現在 159 機（11 月末時点）のエアバス機を運航しています。



A350-900 を追加発注したエールフランス-KLM グループ



エールフランス航空が A350-900 を運航

ユナイテッド航空、A321XLR を 50 機発注

ユナイテッド航空が A321XLR を 50 機発注しました。経年機の入替えを行い、同社の米国におけるハブであるニューアークとワシントン D.C. からの大西洋路線を拡充します。2024 年に A321XLR 初号機を受領し、2025 年には国際路線での運航を開始する予定です。

A321XLR は A320neo/A321neo ファミリーの発展型で、単通路型機でより長い航続距離と大きなペイロードを必要とする市場のニーズに対応しま

す。競合機と比較してより長い路線において高い経済性を発揮し、航空会社により大きな価値をもたらします。米国東海岸から欧州のより幅広い都市へ飛行することが可能です。



2024 年から納入が開始されるユナイテッド航空の A321XLR

チリのスカイ、A321XLR を 10 機発注

チリの低コスト航空会社であるスカイ（SKY）が A321XLR を 10 機発注する契約を締結しました。同社は国際路線ネットワークを拡充する予定です。

スカイは 2010 年からエアバスの顧客で、2013 年からは全機エアバス機で運航しています。現在 A320 ファミリーを 23 機保有し、国内やチリとアルゼンチン、ブラジル、ペルー、ウルグアイをつなぐ国際路線でサービスを展開しています。

エアバスの最新航空機市場予測（GMF）によると、中南米地域では今後 20 年間で 2,700 機の新造機が必要になる見通しです。これは現在運航機数の 2 倍以上の数です。2002 年から中南米における旅客交通量は倍増しており、今後 20 年も成長が続く見込みです。特にチリでは交通量が一人当たり 0.89 回から 2038 年には 2.26 回に増加することが予測されます。

また、GMF によると、増加する航空機と共に、今後 20 年間で中南米地域において 47,550 人のパイロットと 64,160 人の整備士が必要になる見通しです。この需要に対応するため、スカイは訓練を提

供するエアバス・チリ・トレーニング・センターのローンチカスタマーとなっています。トレーニング・センターでは A320 のフルフライト・シミュレーターを備え、運航乗務員訓練を提供します。



A321XLR で国際路線ネットワークを拡充するスカイ

タッチスクリーンのコックピットディスプレイを装備した A350 XWB を初納入

エアバスはこのほど、タッチスクリーンのコックピットディスプレイを装備した A350 XWB を初納入しました。A350 向けにタレスと共同で開発したディスプレイによって、運航効率性を強化し、乗務員のインタラクションを向上、コックピットの調和を確保し、よりスムーズに情報を管理することができます。新しいコックピットディスプレイを備えた A350 初号機は 12 月 18 日に中国東方航空に引き渡されました。これまでに約 20 社の航空会社がこのオプションを備えた A350 XWB を選定しています。

A350 のコックピットに設置された 6 個の大型スクリーンのうち 3 個（左右の端 2 個と低位置にある中央スクリーン 1 個）がタッチスクリーンになります。エレクトロニック・フライト・バッグ（EFB）のアプリケーション利用時にパイロットはタッチスクリーン操作が可能です。この新入力方式によって、操縦席の前の引き込み式テーブルに設置された既存のキーボードと、中央コンソールのキーボード & トラックボール（KCCU: キーボード・カーソル・コントロール・ユニット）を補完します。

このタッチスクリーン技術は 11 月に欧州航空安全庁（EASA）より型式証明を取得しました。ピンチズームやパン操作が容易にできます。また、特に離陸時や飛行 / 巡航時、空港進入準備などにおいて柔軟性や操縦士同士のインタラクションを向上します。さらに、飛行中、操縦士の作業負荷の大きい状況で、低位置の中央ディスプレイで EFB アプリケーションを利用する際、様々なカーソル入力作業を軽減し、別のディスプレイを操作する必要がなくなります。



タッチスクリーンのコックピットディスプレイを装備した A350 XWB



約 20 社の航空会社がタッチスクリーンを備えた A350 を選定

エア・カナダ、A220 を初受領



45 機の A220 を発注するエア・カナダ

エアバスはこのほど、エア・カナダに同社の A220-300 初号機を引き渡しました。A220-300 はカナダのミラベルにある A220 プログラム施設で設計、製造され、納入されました。発注している 45 機の第 1 号機となる同機は 2020 年 1 月に商業運航を開始する予定です。これによりエア・カナダは北米で A220-300 を運航する最初の航空会社にな

ります。

モントリオールを拠点とするエア・カナダは A220 によって、同社のカナダにおける様々な路線や米国への路線で快適な空の旅を提供します。同社の A220 の客室は 2 クラス制で、ビジネスクラス 12 席、エコノミークラス 125 席の合計 137 席を装備します。

小型の単通路型市場に対応するため開発された

A220 によって、エア・カナダはこれまで飛行できなかった新しい路線を開拓することができます。A220 は運航性能、経済性、快適性に優れ、エア・カナダは 2020 年春にはモントリオールからシアトル、トロントからサン・ジョゼに運航することができます。

持続可能な航空会社を目指すエア・カナダの計画に見合う A220 は同クラスで最も静かで環境にやさしい航空機です。空港周辺に配慮した航空機で、旧世代機と比べて騒音影響を 50% 削減、業界基準よりも NOx 排出量を 50% 削減しています。エア・カナダは現在 116 機のエアバス機を運航しています。



エア・カナダは A220 初号機を来年 1 月から運航

2019年のハイライト



ANAのA380「FLYING HONU」初号機を引き渡し



ギヨム・フォーリを正式にエアバスの最高経営責任者に任命



エアバス機の総引き渡し数が12,000機に到達



5月29日にエアバスは最初の航空機開発から50周年を迎えた



JALのA350 XWB 初号機を引き渡し



単通路型最長の航続距離を備えるA321XLRをローンチ



A220-300が中部国際空港に初飛来



A320neoファミリー納入1,000機に到達

2019年11月末時点の受注・引き渡し・運航機数

機 種	総受注機数	総引き渡し機数	運航機数
A220 / A318 / A319 / A320 / A321	15,865機	9,240機	8,797機
A300 / A310	816機	816機	308機
A330 / A340	2,167機	1,861機	1,686機
A350	959機	331機	331機
A380	251機	240機	238機
合計	20,058機	12,488機	11,360機